都留市立都留文科大学附属小学校　の

校長室から

2021年度

第　8　号

令和3年11月29日

〒 402-0023 山梨県都留市大野396　　TEL 0554-43-2336　　文責　村松 俊一

コロナはいずこへ そして学校は

相変わらず各ご家庭には、コロナ対策でお気遣いをいただいているところです。しかし、これはいつまで続くかまだ先が見えない状況です。また、地球温暖化に伴い、他の感染症の北限が北上している状況から、これまでとは違った病気との闘いが続いていくという有識者もいます。また、３年耐えればこれまでの病気はある程度対応の道筋が見えて、ワクチン開発や病原体の弱毒化によってリスクを減らせたという有識者もいます。いずれ、現状では未来は分かりません。コロナの変遷を振り返ります。

2019年末…中国武漢にて新しい感染症が発生

2020年1月…タイ・韓国・米国にてコロナ発生

…WHOが緊急事態を宣言

2月…ﾀﾞｲﾔﾓﾝﾄﾞﾌﾟﾘﾝｾｽ等ｸﾗｽﾀｰ多数**(第1波)**

3月…全国小中学校一斉休校

4月…7都道府県緊急事態宣言

5・6・7月…小康状態　8月…感染拡大**(第2波)**

9・10月…小康　11・12・1・2月…拡大**(第3波)**

2021年3月…小康 4・5・6月…拡大**(第4波)**

7月…小康　8・9月…拡大**(第5波・デルタ株)**

10・11月現在…小康状態？　**そして第6波？**

学校も世の中も激動しました。しかも、わずか2年間の出来事です。そして日本では未検出の**オミクロン株**が「懸念される変異株」に指定されました。

学校はコロナ対策を続けながらも、通常の状態に近づけるよう、間隔や換気、用具に配慮しながら合唱や話し合いなども再開してきています。しかし、昨年度流行しなかったインフルエンザもあります。

コロナやインフルエンザ等の感染症対策に、ご家庭でも気を緩めずにご協力をお願いいたします。

かしこく学習を深めます

その1　ミニミニ大学実現へ

都留文科大学をよく知らない全附属っ子のために計画を進めてきた大学訪問企画「ミニミニ大学」をコロナ小康状態（？）の中で実現します。

日時　令和3年12月20日(月)

輸送　都留市が借り上げてくださった大型バス

内容　〇杉本副学長による大学の説明と案内

〇大学英語講師デルグレゴ先生による英語

日程　9:25バス乗車　9:45文大着　9:55全体会

10:10高→杉本副学長　低→デルグレゴ先生

11:00高→デルグレゴ先生　低→杉本副学長

11:50全体会　12:05バス乗車　12:20学校着

都留文科大学保健センターによる感染防止対策

・教室換気を30分に1回以上、数分間窓を全開

・児童、小学校職員、大学職員、学生は不織布マスクを着用（注:布マスクではありません）

・当日受付で検温及び手指消毒→平熱より1度以上高い場合は学校同様お迎え（朝、家庭でも注意を）

・参加者の名簿を小学校が持参し不慮の事態に対応

☆コロナでネットへの方針変更から一転、大学を活動場所として、双方向の小大連携の始まりです。

その2　健康・安全・郷育プログラム

1・2年生を対象として都留市セーフティコミュニティ推進協議会事業「かけがえのない大切な命を守る心と体づくり」の講演と体操を行います。講師はやまなし大使で防災士でもある渡辺光美先生です。

日時　12月14日(火)11:25～12:25

場所　体育館

参観者　都留市関係、警察関係、市内教育関係　他

秋の校外学習、6年生が最後を飾る！

初の晩秋の静岡方面修学旅行を 11月25日(木)～26日(金)実施しました

＜１日目・快晴＞
7:10全員無事出発
都留～清水/全線高速
9:40東海大学博物館
11:20三保の松原
13:00日本平お茶会館
14:00夢テラス
~ロープウエイ移動~
14:20久能山東照宮
~ロープウエイ移動~
15:30月日星(買い物)
17:10ホテル
ﾃﾄﾗﾘｿﾞｰﾄ静岡やいず
21:45就寝

保護者に出発あいさつ

迫力でびっくり

銀輪舞う魚群

三保の松原と遥か富士

海岸のお弁当はうまい

茶葉終了、茶の実集め

＜２日目・快晴＞
6:00全員無事起床
都留1℃、焼津10℃
6:30朝の会～渚散歩
7:00朝食
8:00ホテル発
9:30登呂遺跡
11:15月日星(昼食)
12:30清水湾クルーズ
14:30静岡科学館ﾙｸﾙ
16:10鈴木農園ﾐｶﾝ狩
16:40静岡発
清水いはら～都留/全線高速
18:40帰校

ホテルの方と記念写真

登呂遺跡のあぜを行く

米炊き土器はどっち？

弥生時代の丸木舟

船上、そこにカモメ

初ミカン収穫、うまい

昨年度の修学旅行とは打って変わって、今年は二日間とも快晴で富士山がよく見えました。朝夕は水平線の琥珀色や富士山の紅が広がって別世界のようです。朝は風がなくて、日中、海風が吹き上げる海辺の気候がよくわかりました。ちなみに、26日(金)の朝の気温は、都留市が1℃に対して、焼津市は10℃と、地域による気温差も体感できました。都留・清水間、高速道路も全線開通です。

6年生はバスや目的地でマナー良く、学習に余念がありませんでした。バスの中での各目的地の学習の振り返りでは、大人も発見できないような気づきを発表して、たくさんの学びを友達と共有しました。ある児童は熱心かつ地道に調べ学習を行ってきて、「やっと本物を見ることができた」と予習したことの実地検証での感動をうれしそうに口にしました。学習面での実りがたくさんあり、キャリア教育の面でも、お世話になった方々のおもてなしが6年生の心に染み込む修学旅行でした。